

# iDempiere / JPiere マインドマップ

**OSSERP Solutions**  
オープンソース・イテールピー・ソリューションズ

iDempiereは、Webアプリケーションで、クラウドでも自社サーバーでも運用できる!!

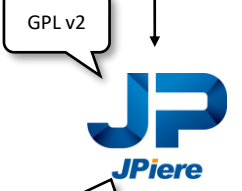
“無料”で利用できる  
“オープンソース”の  
“ERP”

2面性  
1

無料で使用できる  
2-1

オープンソース  
(OSS)  
2-2

ERP  
2-3



業務アプリケーションの  
開発フレームワーク  
3

その他  
4

OSにLinux、DBにPostgreSQLを選択すれば、ソフトウェアに関わるコストは無料!!

iDempiereは、GPLv2のもとにソースコードが公開されていて、自由に改変できる。

元祖“オープンソース”のERPの系譜 → **Compiere -> ADempiere -> iDempiere**

オープンソースの**メリット/デメリット**  
他のシステム導入との**リスク**比較!!

商用パッケージ、スクラッチ開発、オープンソース、SaaSと どれを選んでもリスクはある。それぞれのメリットとデメリット、リスクを正しく把握して、評価する事が重要!!

OSにはWindows、DBにはOracleも選択できる!

20年以上の歴史のあるオープンソースのERP。長く続いているには、それなりの理由がある!!

iDempiereにはコスト削減だけではない魅力がある!!

有料のパッケージソフトで不具合の責任を取るようなソフトはあるの?  
iDempiereは既知の不具合は公開されている(※)

OSSは不具合はスキルがあれば自分で治せると前向きに考えて!! → 不具合がクリティカルなものほど、iDempiereコミュニティは真摯に取り組んでいる。

どんなシステムを選択してもリスクは0にはならない!! → リスクはコントロールするもの!! → **オープンソースは、ソースコードが手許にあるから、リスクコントロールしやすい!!**

**OSSの運営**

- 特定の企業が運営している
- コミュニティが運営している

特定の企業の意思が強く反映される傾向にある。その分意思決定は早い、利益追求の傾向が強く、OSSとして成功した後でクローズドになっていく傾向がある。もしくは無料の機能と有料の機能が提供されるような場合もある。特定の企業が利益追求するので、開発に必要なコストを捻出しやすく、開発スピードが早い傾向もある。

意思決定は民主的に行われる反面、その分意思決定には時間がかかる傾向がある。コミュニティとしては利益追求は行わないので、開発はボランティアに依存し、必ずしも開発スピードが早いとは言えない場合もある。

iDempiereコミュニティ → リーダー(創設者): Carlos Ruize / Heng Shin Low

メジャーコントリビューター: Hiep Le Quy / Diego Ruiz / Chuck Boecking / Steven Sackett / Alain Ranvier / Thomas Bayen / Deepak Pansheriya / **Hideaki Hagiwara** / Nicolas Micoud / Norbert Bede / Murilo H Torquato / Vanessa Castro ...

**主な業務機能**

- 販売管理 → 見積管理 / 受注管理 / 出荷納品管理 / 売上請求管理(債権管理) / 入金管理...
- 購買管理 → 購買依頼管理 / 発注管理 / 入荷管理 / 仕入請求管理(債務管理) / 支払管理...
- 在庫管理 → 棚卸 / リアルタイム在庫評価 / 在庫移動 / 在庫補充 / 在庫調整(社内使用在庫)...
- 生産管理 → BOM(部品表) / 組み立て・分解 / 原価管理...
- 会計管理 → 会計レポート(財務諸表 + 管理会計レポート) / 振替仕訳 / 出納帳 / 配賦...
- 顧客管理 → 見込顧客管理 / リクエスト(クレーム)管理 / 与信管理 / 督促...

特定の機能の有無よりも、システムを導入するのに適切なコストで導入できるか(予算内で導入できるか)が重要なのではないかと? 無い機能でも生産性高く開発できるのがiDempiereの良い所!! 無い機能は開発する前提でトータルコストで考える!!

必ずしもERPとして使用する必要はない。販売管理システムとして使用しているケースも多い。活用方法は無限にあり、アイデアとスキル次第!!

**その他の機能...**

マルチな機能(マルチクライアント、マルチ組織、マルチ通貨(外貨建取引)、マルチ言語、マルチ会計帳簿) / 間接税計算 / 自動仕訳 / 伝票番号の自動採番 / 内部取引(組織間取引) / 承認ワークフロー / プロジェクト管理 / キャンペーン管理 / メール送信 / メッセージ配信 / 添付ファイル / データインポート(フロントエンド・バックエンド) / データエクスポート / Webサービス / 権限管理(アクセスコントロール) / ログ管理(更新ログ、プロセスログ、セッションログ、エラーログ、ログインログ...) / ジョブスケジューラー / アラート機能 / キック入力機能 / 個人レベルのカスタマイズ(初期値設定、検索条件...) / ズーム機能 / LDAP / ダッシュボードガジェット / レスポンシブデザイン(モバイル対応) / ハウスキーピング...

500近くの  
カスタマイズ

**iDempiereの日本商習慣対応プラグイン群**

消費税対応 / まとめ(月締)請求書 / 複数締日対応 / 見積伝票・手書伝票 / 契約管理 / 出荷基準売上計上 / 検収基準売上計上 / 期末在庫評価 / 弥生会計用データエクスポート / 各種データインポート ...

フォームウィンドウ / マトリクスウィンドウ / シンプルインプットウィンドウ / ピボットウィンドウ(※) / グループウェア(ToDo管理、お知らせガジェット) / SSO-SAML(※)

JPFS → 主にJPiereのテーマ(デザイン) / JPMS → パラメーターによるカスタマイズ / JPMS → iDempiereのソースコードに間接的に修正するカスタマイズ

実は、**世界的に使えるiDempiereの機能拡張プラグイン群**

業務アプリケーションに求められる機能

データ入力 → 入力画面(ウィンドウ、フォーム) / データインポート / Webサービス ...

データ処理 → ビジネスロジック → モデルクラス / プロセス(バッチ処理) / コールアウト ...

データ出力 → レポート(オンラインレポート、会計レポート、ジャスパーレポート) / データエクスポート / Webサービス ...

データ入力とデータ出力は高度に汎用化されており、大部分がパラメーター設定で開発できるようになっている。データ処理(ビジネスロジック)は、Javaで開発する。**エンジニアはビジネスロジックの開発に注力すればよいので、生産性が高い!!**

カスタマイズは、“パラメーター設定(コンフィグ設定)”、“アドオン(プラグイン)”、“モディフィケーション”の3つに分類できる。そして、この3つの組み合わせでカスタマイズしていく。

iDempiereのアーキテクチャ  
(3階層のモデル駆動アーキテクチャ)  
3-4

プレゼンテーション層 → データ入力画面 / レポート / データ検索画面 ...

アプリケーション層 → ビジネスロジック / エンジンプログラム

データベース層 → トランザクションデータ / マスタデータ / **アプリケーション辞書のデータ**

ERPが作れるくらい、業務アプリケーションを生産性高く開発できる機能や仕組みが用意されている!! 基本的に、Javaでできる事は、iDempiere上でできる。

**導入手法** → ウォーターフォールモデルが基本だがアジャイル的な導入を志向しても良いのではないかと? 予算ドリブンアプローチで細かくフェーズ分けしても良いのではないかと?

**バージョンアップについて** → iDempiereではプラグインの仕組みを最大限に活用して、バージョンアップしやすい状態を維持して自由度の高いカスタマイズを行う事ができる! バージョンアップしないという割り切りも有り!

**セキュリティーについて** → iDempiereコミュニティはセキュリティーには細心の注意を払っている。セキュリティーに関わる不具合は解決されるまで公開されない。